

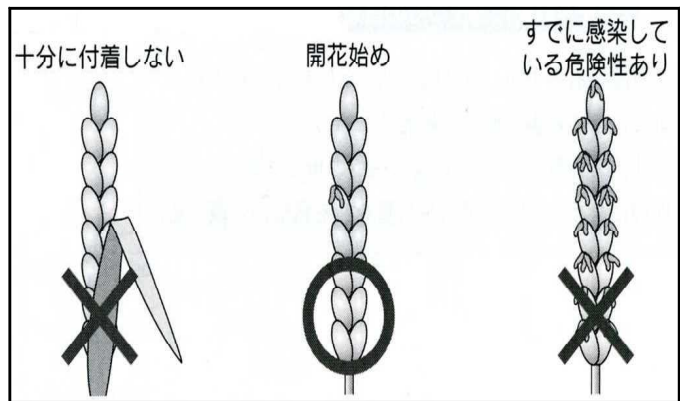
秋まき小麦 赤かび病防除 1回目は適期に！

出穂期は平年より2日早い6月1日頃となる予定です。茎数は平年より多めに推移しています（本年：943本/m²、平年：901本/m²、6/1現在）。

一部ほ場で出穂が見られ、来週前半には出穂が揃うほ場も見られると思われます。生育状況をよく観察し、防除適期を逃さないようにしましょう。

☆赤かび病防除のポイント

防除適期は「開花始め」。
 降雨が予想される場合には
穂が出そろった時期に早めに防除
を行きましょう。
 ※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼
しくなった時間帯に行いましょう。



ニューカントリーより一部改変

☆赤かび病の防除体系例

防除時期	薬剤名	使用倍率	使用時期	回数
開花始め	バラライカ水和剤	500	収穫14日前	2
	または リベロ水和剤	2,000	収穫7日前	3
1回目の 7日後	ベフトップジンフロアブル	800～ 1000	収穫14日前	出穂期以降 1
2回目の 7日後	リベロ水和剤	2,000	収穫7日前	3
	または シルバキュアフロアブル	2,000	収穫7日前	2

☆尿素の葉面散布

止葉期に窒素の分肥を行わなかったほ場や低タンパク傾向にあるほ場では、窒素資材の葉面散布を検討し、品質確保につなげましょう。

尿素 1～2%溶液（水100Lに尿素 1～2kgを溶かす）を 1～3回葉面散布

※ノズルが詰まらないよう、尿素ははじめにバケツなどで溶かしましょう。

※葉色が濃い場合や、高温の場合は「葉焼け」防止のため1%溶液を散布してください。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょう。

○●適正管理で目指せ！ 1等Aランク10俵どり●○